

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第19週の発生動向

トピックス

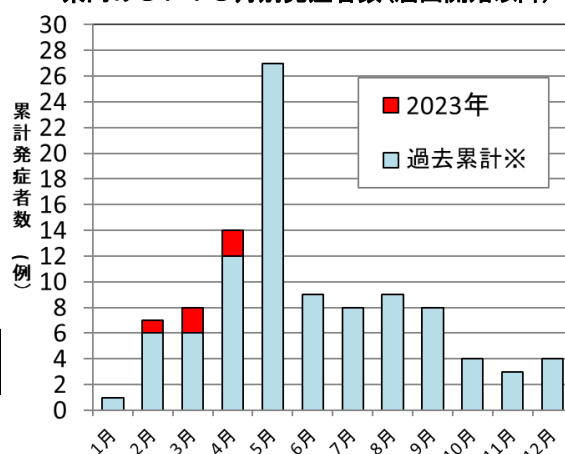
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

（全数報告の感染症）の報告が高鍋、日向保健所管内からあった。患者は80歳代と70歳代の女性で、いずれもダニの刺し口があった。県内での報告は、累計102例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	5	23	39	26	5

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



※2013年3月から2022年まで

全数報告の感染症（19週までに新たに届出のあったもの）

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核4例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群2例。
- 5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒5例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	肺結核	なし
			60歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難
		延岡	70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		日向	80歳代	女	結核性腹膜炎	腹痛、下痢、体重減少
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	10歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、O血清群不明(VT1)
4類	重症熱性血小板減少症候群	高鍋	80歳代	女	—	下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、刺し口、胸痛
		日向	70歳代	女	—	発熱、頭痛、下痢、全身倦怠感、刺し口、嘔気、咳嗽、鼻汁
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	80歳代	女	—	ショック、DIC、軟部組織炎
		宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
	50歳代		女	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳	
	20歳代		男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹	
	30歳代		男	晩期顕症梅毒	神経症状	
	都城	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は742人(定点当たり17.9)で、前週(祝祭日の休診含む)比111%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は120人(2.1)で、前週(定点医療機関からの第18週の報告数をもとに算出した参考値)比245%と増加した。小林(4.5)、高鍋(3.5)、高千穂(2.5)、中央(2.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

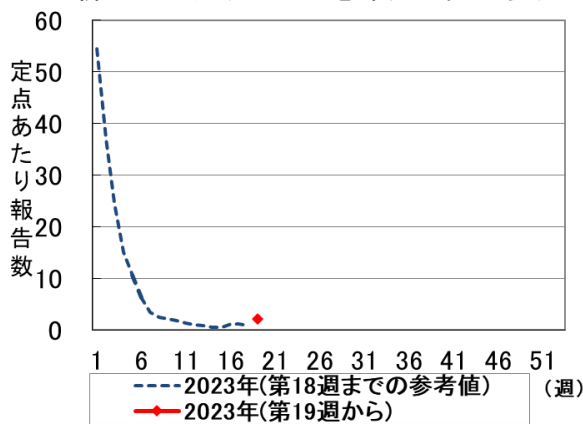
報告数は277人(7.7)で、前週比127%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(5.7)の約1.3倍であった。小林(21.3)、都城(10.5)、中央(9.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

【ヘルパンギーナ】

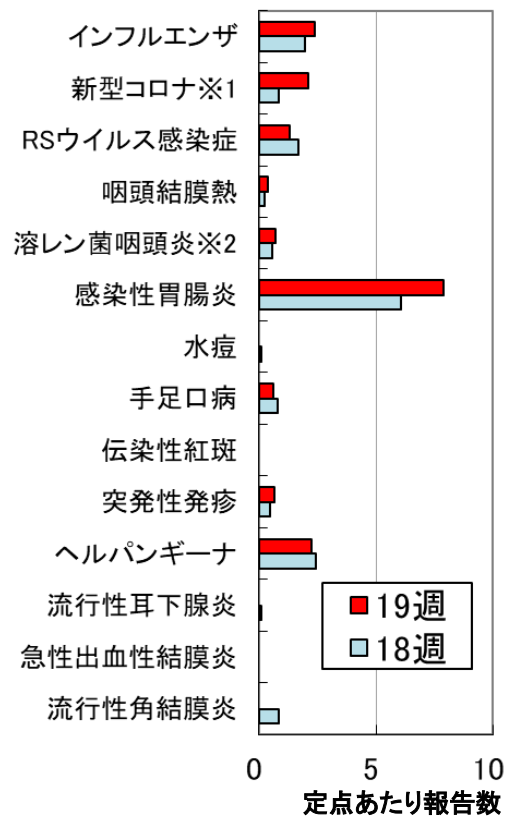
報告数は78人(2.2)で、前週比89%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(0.45)の約4.8倍であった。宮崎市(3.6)、延岡(3.5)、高鍋(2.0)、中央(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から4歳が全体の約9割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

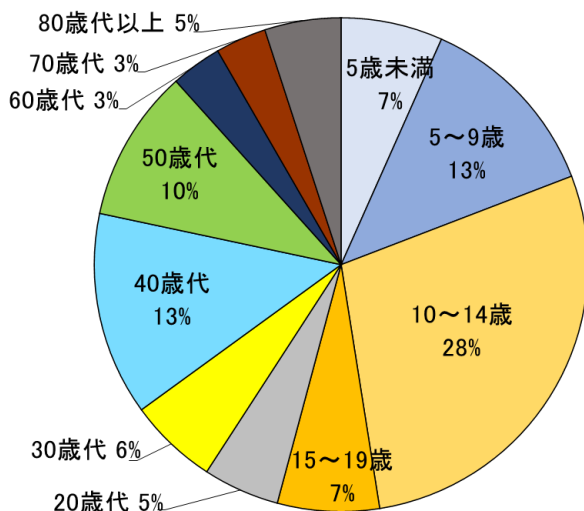
新型コロナウイルス感染症 発生状況



《前週との比較》

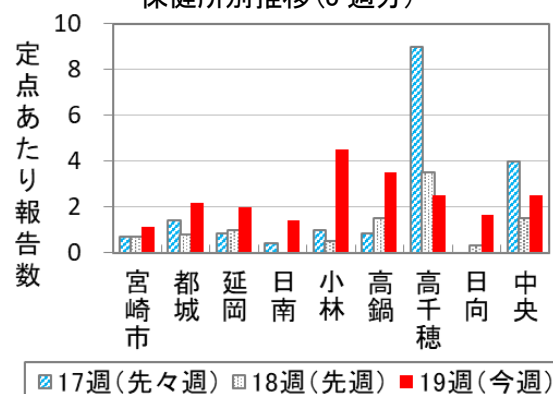


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第19週)

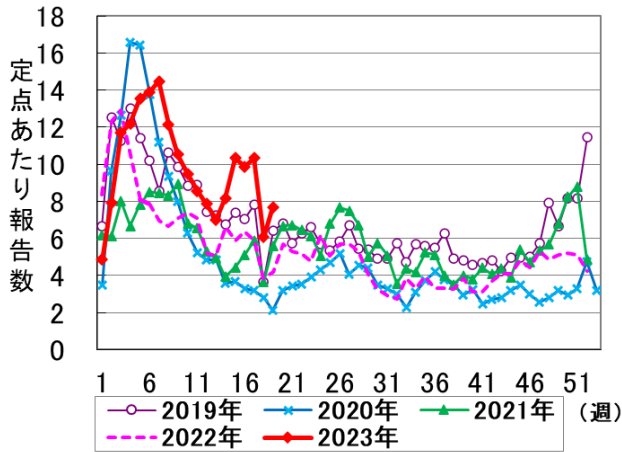


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

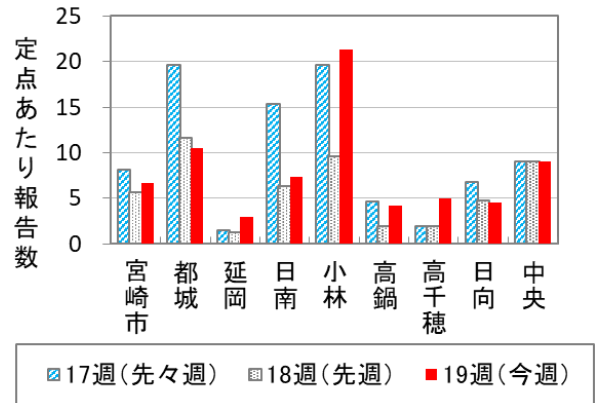
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



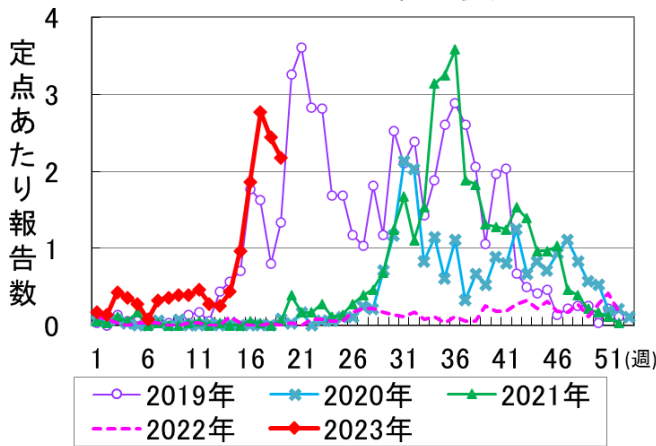
感染性胃腸炎 発生状況



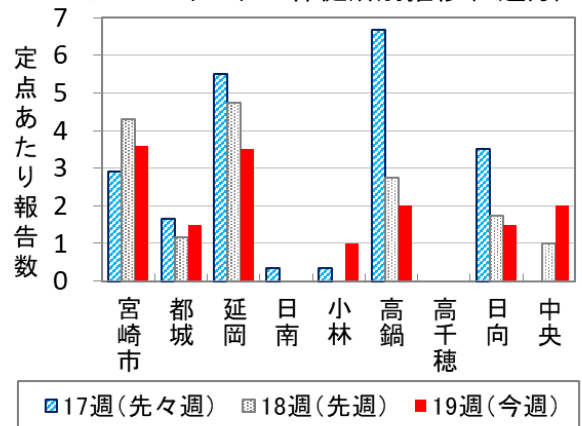
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

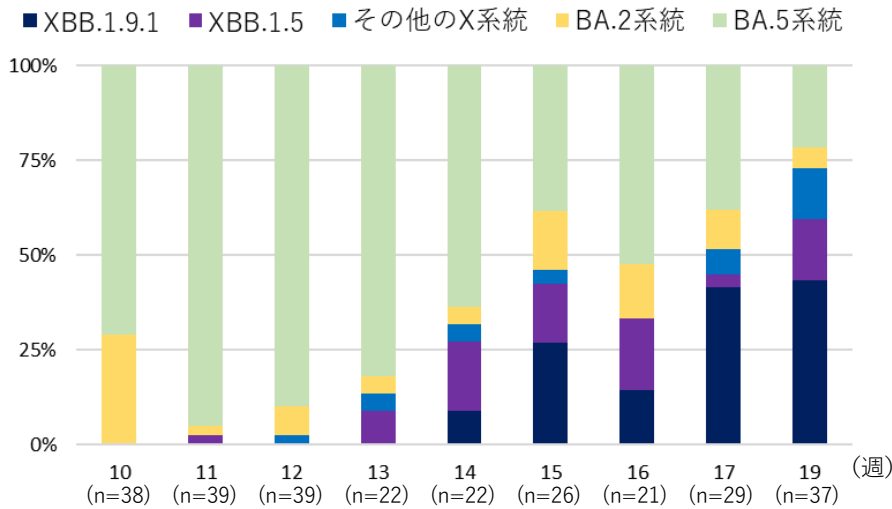
★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(21.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

流行警報レベル開始基準値
・感染性胃腸炎(20)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



オミクロン株の BA.5 系統が減少傾向で、XBB.1.9.1 が増加傾向にあります。また、その他の X 系統も含む XBB 系統は第 19 週で 73% を占めています。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられます。

XBB は BJ.1 (BA.2.10.1 系統) / BM.1.1.1 (BA.2.75.3 系統) の組換え株です。

ゲノム解析は概ね前週（第 19 週は 17・18 週）の検体を用いて実施しています。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなります。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施しています。

✚ 全国 2023 年第 18 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	121 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18 例				
4類感染症	E型肝炎	4 例	サル痘	7 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	3 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	6 例
	レジオネラ症	20 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	3 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	18 例
	急性脳炎	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例	後天性免疫不全症候群	4 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	23 例
	水痘(入院例)	3 例	梅毒	101 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	6 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 76% と減少した（祝祭日の休診含む）。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザ、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び水痘であった。

R S ウイルス感染症の報告数は 3,087 人 (0.99) で前週比 92% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.36) の約 2.8 倍であった。和歌山県 (5.0)、大阪府 (3.1)、福井県 (2.9) からの報告が多く、年齢群別では 3 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 886 人 (0.28) で前週比 85% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.04) の約 7.4 倍であった。宮崎県 (2.4)、長崎県 (2.1)、佐賀県 (2.1) からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2023年4月>

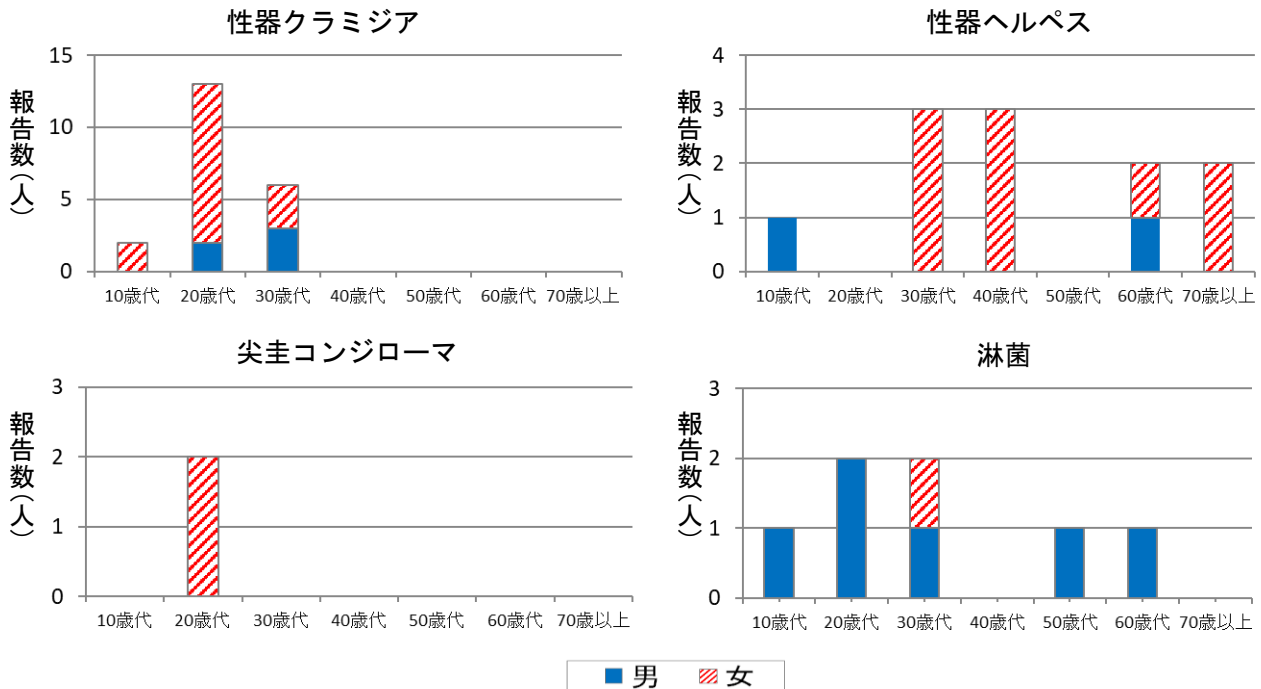
性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は41人(3.2)で、前月比100%と横ばいであった。また、昨年4月(2.2)の約1.4倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数21人(1.6)で、前月及び昨年4月の約0.9倍であった。
20歳代が全体の約6割を占めた。(男性5人・女性16人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数11人(0.85)で、前月の約1.4倍、昨年4月の5.5倍であった。(男性2人・女性9人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の約0.4倍であった。(女性2人、昨年報告なし)
- 淋菌感染症：報告数7人(0.54)で、前月及び昨年4月の約1.8倍であった。(男性6人・女性1人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,605人(4.7)で、前月比95%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,512人(2.6)で前月比97%、性器ヘルペスウイルス感染症758人(0.78)で前月比93%、尖圭コンジローマ562人(0.58)で前月比98%、淋菌感染症773人(0.79)で前月比90%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は16人(2.3)で、前月比94%と減少した。また、昨年4月(3.1)の約0.7倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人(2.3)で、前月の約0.9倍、昨年4月の約0.7倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,073人(2.3)で、前月比84%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,012人(2.1)で前月比84%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症57人(0.12)で前月比92%、薬剤耐性緑膿菌感染症4人(0.01)で前月比50%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第19週(05月8日～05月14日)

疾病名		第18週	第19週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	115	137	50	28	5	22	13	3	2	7	7
	定点当り	1.98	2.36	3.13	2.80	0.71	4.40	3.25	0.50	1.00	1.17	3.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	-	120	18	22	14	7	18	21	5	10	5
	定点当り	-	2.07	1.13	2.20	2.00	1.40	4.50	3.50	2.50	1.67	2.50
RSウイルス感染症	報告数	60	46	10	9	3	2		8		11	3
	定点当り	1.67	1.28	1.00	1.50	0.75	0.67	0.00	2.00	0.00	2.75	3.00
咽頭結膜熱	報告数	9	14	6	3	1	2	1	1			
	定点当り	0.25	0.39	0.60	0.50	0.25	0.67	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	21	25	9	5	1	4	1				5
	定点当り	0.58	0.69	0.90	0.83	0.25	1.33	0.33	0.00	0.00	0.00	5.00
感染性胃腸炎	報告数	218	277	67	63	12	22	64	17	5	18	9
	定点当り	6.06	7.69	6.70	10.50	3.00	7.33	21.33	4.25	5.00	4.50	9.00
水痘	報告数	3										
	定点当り	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	29	22	13	5	2	1		1			
	定点当り	0.81	0.61	1.30	0.83	0.50	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	17	23	8	5	4	2	2	1		1	
	定点当り	0.47	0.64	0.80	0.83	1.00	0.67	0.67	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	88	78	36	9	14		3	8		6	2
	定点当り	2.44	2.17	3.60	1.50	3.50	0.00	1.00	2.00	0.00	1.50	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	4										
	定点当り	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5										
	定点当り	0.83	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～19週)

2類感染症	結核	45例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例(1)	腸チフス	1例
	重症熱性血小板減少症候群	5例(2)	つつが虫病	9例
4類感染症	レジオネラ症	1例		日本紅斑熱
				1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例(1)	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	67例(5)
	百日咳	4例		播種性クリプトコックス症
				3例
				カルバベネム耐性腸内細菌感染症
				1例
				クロイツフェルト・ヤコブ病
				2例
				侵襲性肺炎球菌感染症
				4例

()内は今週届出分、再掲